インド工科大学マドラス校

Indian Institute of Technology Madras（IITM）

インド
×２週間

インド工科大学マドラス校

Indian Institute of Technology Madras（IITM）
インド南部チェンナイ（旧マドラス）に所在する
インドNo.１の名門国立大学。

インド工科大学マドラス校

Indian Institute of Technology Madras（IITM）

インド
×２週間

実施大学	実施形態	日程	募集人数	クラス分け	英語力目安（TOEIC換算）	宿泊形態	通学方法	プログラム費用に含まれる食事	プログラム費用（万円）	奨学金最大額（万円）	自己負担金額（万円）
インド工科大学　マドラス校	カスタム	2/26(月)～3/12(火)	15	参加者多数の場合有	制限なし	ゲストハウス	徒歩	平日3回(朝昼夕) 休日3回(朝昼夕)	25	6	19

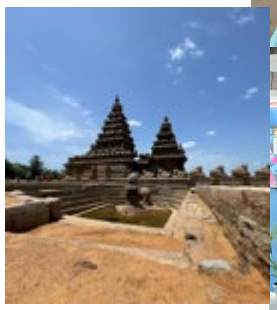
※食費はゲストハウスで食事した場合の費用はプログラム費用に含まれています。
インド入国に必要なVISAの申請費用もプログラム費用に含んでおります。

【フライトスケジュール】　マレーシア航空

【行】　2/26 MH89　成田/クアラルンプール　10:05/17:00
　　MH180　クアラルンプール/チェンナイ　21:40/23:05

【帰】　3/11 MH183　チェンナイ/クアラルンプール　11:45/18:15
　　MH88　クアラルンプール/チェンナイ　23:35/07:15　**3/12着**

インド工科大学マドラス校（IITM）はインドで最も優秀な工科大学のひとつで、研究水準の高さは国際的にも有名です。本プログラムは、そのIITMで実施する、**英語授業と研究室見学を組み合わせた特別プログラム**です。英語授業は、コミュニケーションやプレゼンテーションの技法を集中的に学びます。研究室見学では、いろいろな分野の研究室を訪問し、研究内容について解説を受けます。有名な世界遺産、チェンナイ市内の視察ツアーも予定されています。



★平日の基本スケジュール

10:00–13:00	英語授業（アウトプットやプレゼンの技法を中心としたレッスン）
13:00–14:00	昼食
14:00–16:00	Lab Visit（様々な分野のラボを訪問できます）
16:00–	フリー（スポーツイベント・ビーチ・ショッピングツアーなど）

★こんな人にオススメ

■インドという国に興味がある方、日本の生活と大きく離れた経験をしたいという方

■研究室見学が豊富なため、いろいろな分野の知見を広げたい方　■カレー好きな方（食事はカレーが基本です）

■いろいろ発生する“イベント”をインドの習慣や文化を学ぶ機会としてポジティブに考えられる方にオススメです。

■インドは勢いのある国です。将来インドの方と一緒に働いたり研究を進めることもあるかもしれません。
そんな時、わずか2週間でも本プログラムでインドでインドのみんなと過ごした経験がすごく生きてくるはずです。

★参加者の声

■僕はこのプログラムを通して日本にいたら決して体験できないことを本当にたくさん体験できました。我々へのサポートがとても手厚く、治安も良く町中の人々もとても暖かいためこのプログラムが初めての海外渡航であった参加者たちも安心して過ごすことができていました。

■英語の授業では毎日の課題・プレゼンテーションも課され、大変ではありますが身になる授業でした。授業以外のアクティビティも非常に充実していて、二日に一度の朝のヨガのセッションや、午後はラボやIITMの学生との交流、シティーツアーや工場見学などの貴重な体験をすることができました。

■時間がある学生のうちに留学することをおすすめします。特にインドは一生いく機会がないと思うのでおすすめです。

インド工科大学マドラス校
Indian Institute of Technology Madras（IITM）

インド
×２週間

プログラムカレンダー（2023年夏 実施例です。参考にご覧ください。）

IITM-SIT Engineering English Program 2023			
DATE	**DAY**	**TIME**	**DETAILS**
13/08/23	Arrival	Flight Sceduled to arrive at 11.35 PM	Informed TGH regarding the arrival. Students will settle in their respective rooms. Airport pickup has been arranged as well.
14/08/23	DAY 1 (Monday)	10.45 AM to 11 AM	Introduction to the program - Overview & Meeting with Dean of Global Engagement
		11 AM to 2 PM	English Class
		3 PM to 4 PM	IIT Madras Campus Tour (Campus bus will be arranged to take them around IITM campus which spreads over 620 Acres)
15/08/23	DAY 2 (Tuesday)	7 to 8 AM	Yoga session
		10 AM to 1 PM	English Class
16/08/23	DAY 3 (Wednesday)	10 AM to 1 PM	English Class
		2 PM to 6 PM	Chennai City Tour (Mr Praveen from the Office of Global Engagement will accompany)
17/08/23	DAY 4 (Thursday)	7 to 8 AM	Yoga session
		10 AM to 1 PM	English Class
		3 PM to 4 PM	Sports activities with students from IIT Madras in the Campus ground
18/08/23	DAY 5 (Friday)	10 AM to 1 PM	English Class
		2 PM to 6 PM	IIT Madras Central Workshop visit and visit to the Brain Centre
19/08/2023	Saturday	9 AM to 5 PM	(Cultural Tour) Dhakshina Chitra & Mahabalipuram Accompied by a guide and a staff from IIT Madras
21/08/23	DAY 6 (Monday)	7 to 8 AM	Yoga session
		10 AM to 1 PM	English Class
		3 PM to 4 PM	IIT Madras Additive Manufacturing and Materials Lab visit
25/08/23	DAY 10 (Friday)	7 to 8 AM	Yoga session
		10 AM to 1 PM	English Class
		1 PM to 2 PM	Send-off Lunch
26/08/23	Departure	Flight Scheduled to depart at 10.05 AM	Pre departure and send off to the students and faculty. Transport is arranged to pick up at 7 AM in TGH.

Lab Visit (IITM Research Park, Agnikul, and Aqua Map)
English Class
Industrial Visit
Yoga session
English Class
Lab visits Centre for Innovation(CFI) and NIRMAN
English Class

Lab Visit
当プログラムではラボ見学が大きな比重を占めます。各ラボでは、IITMの教員や博士課程学生が詳しく説明してくれます。IITMは産業界や政府系機関との連携も進んでおり、高度な設備・機材を用いて先進的な研究をしているラボが多くあります。インド英語は早口ですが集中して聞き取る練習をしましょう！

Industry Visit
工場見学では、インド企業工場を見学する場合もあります。過去にはスチールセンターやスタートアップ企業などを見学しました。

Site Visit
世界遺産や近隣の史跡を見学します。2023年の夏はMahabalipuram（マハーバリプラム）や Dakshina Chitra（ヘリテイジ・ミュージアム）訪問、チェンナイ市内観光を行いました。

English Class　Yoga Class
英語の授業はアウトプットカを鍛えられるレッスンです。
最終日にはプレゼンテーションもあります。
英語授業に加え、2日1度ほど朝にヨガクラスの時間も設けられています。

2024年2-3月語学研修スケジュール

STEP 1	**11月8日(水)～11月19日(日)まで** **Web申し込み期間**	学内アカウントでログインした状態でGoogle Formより申し込みください。 https://forms.gle/vSShsHF4R2sNHnXH7 ＊定員等の事情により第一希望に参加できない場合もあるため、希望先は優先順位をつけて３つ選んでください。
STEP 2	**11月下旬** **Zoom面接(対象者のみ)**	以下の面接対象者にのみ面接を実施します。学内メールで面談日を案内しますのでご確認ください。面談は1人5分程度にて英会話力の確認等を行います。 **（面接対象者）ホームステイ型のプログラムに申し込んでいる学生のうちTOEICスコアが400に満たない学生。もしくは本学が面談が必要と判断した学生。**
STEP 3	**11月下旬** **参加プログラム決定通知および意思確認の回答**	**参加プログラム決定通知**を国際部から学内メールに送信しますのでご確認ください。 **指定されたプログラムで参加するかどうか、確認をしますので回答してください。** （第2希望や第3希望での通知となることもありますのでしっかり確認した上で回答ください。） メール返信またはGoogle Formでの回答をお願いすることになります。
STEP 4	**12月上旬　12/2(土)** **1回目オリエン・危機管理セミナー** **（プログラム毎に指定する日）**	第1回**オリエンテーション**および**危機管理セミナー**を行います。 参加者同士が初めて顔を合わせる機会です。 ※ご参加いただけない方は、録画をご覧いただきます。 **11月中にパスポート取得！(有効期限もチェック)**
STEP 5	**12月上旬** **渡航準備**	大学が提携している**旅行代理店から**皆様の学内メールに案内が直接配信されます。 案内に従って**申し込み書類などをご準備ください。**
STEP 6	**12月中旬** **費用振込**	各旅行代理店より費用振り込みについてメールが届きます。各指定日までに**「プログラム費用」をお支払いただきます。** ※この時にお支払いいただく金額は、各プログラム資料にて**「プログラム費用」と記載された金額です。**資料には「自己負担額」という金額も記載されていますが、これは「プログラム費用」からプログラム中、または帰国後に受け取る「奨学金」（最大受給額）を引いた金額を参考金額として表示しているものですのでご注意願います。
STEP 7	**1月下旬～2月上旬** **第2回オリエンテーション** **（プログラムごとのご案内日）**	渡航に必要な重要書類の配布やホームステイ先の連絡、出発日の集合場所等の最終案内を行います。 参加するプログラムに応じて日程を指定致します。
STEP 8	**2月～3月** **各プログラムの日程に合わせて出発（2～4週間）**	プログラム毎に順次**出発！**空港への集合時間等は第2回オリエンテーションでご案内します。
STEP 9	**帰国後** **次のステップへ！**	帰国後、アンケート・修了証・体験談をフォームにてアップロードの上ご提出頂きます。 語学研修での経験を活かして、gPBLや長期留学にもチャレンジしてみてください。

芝浦工業大學
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

申し込み期間
11月19日（日）まで

https://forms.gle/vSShsHF4R2sNHnXH7

早い者勝ちではありませんが、早めの申し込みをオススメします。
上記期間中であれば申請の変更や取消も可能です。

プログラムの定員について

・各プログラムには定員が定められています。定員以上の応募をいただいた場合には、航空便の追加手配や派遣先大学との調整を行い、なるべく多くの方の渡航を実現すべく努力しますが、やむを得ない場合には選考・抽選となります。

→第2、第3希望のプログラムもしっかり選んで下さい。

第2、第3希望が空欄の場合、代替プログラムをご案内できなくなってしまいます。

逆に、**プログラムを実施するための最低限の人数が集まらなかった場合には、当該プログラムを実施できないため、第2希望以下でのご案内となる場合もあります。**

語学研修
費用と奨学金

プログラム費用について

・各プログラムの「プログラム費用」の欄の金額をご用意ください。

為替等により、今後資料に掲載の「プログラム費用」を上回った場合は芝浦工業大学から補助金を支給し、下回った場合は手数料などを除き返金いたします。

奨学金はプログラム参加後に支給されます。**「プログラム費用」**と記載されている金額のご準備をお願いいたします。

為替の影響などでこの金額を上回った場合にも、大学がその分を補填いたします。
下回った場合には、手数料等を除き、その分を返金いたします。

実施大学	実施形態	日程	募集人数	クラス分け	英語力目安（TOEIC換算）	宿泊形態	通学方法	プログラム費用に含まれる食事	プログラム費用（万円）	奨学金最大額（万円）	自己負担金額（万円）
アジア・パシフィック大学（APU）	オープン	2/24(土)～3/24(日)	50	有	300～800	ホテル(2名1室利用) or オフキャンパスの寮	シャトルバス	平日の朝食と昼食	49	7	42

奨学金について

・語学研修は、「芝浦工業大学海外留学奨学金」の対象プログラムです。
・本奨学金は給付型奨学金のため返還は不要です。
・給付金額は成績と渡航先の国・エリアによって決定し、
　プログラム修了後に支給します。

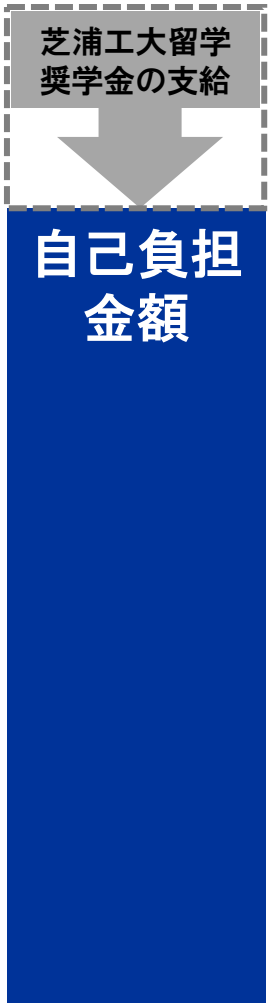
	米国・英国	東南アジア各国	インド
成績が基準値以上	8万円	7万円	6万円
成績が基準値未満	6万円	5万円	4万円

※　成績基準については成績評価係数（GPAとは異なります）2.30ポイントが基準となります。成績評価係数の算出方法や、基準となる算出期について等の詳細は以下を参照ください。
https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/scholarship.html

※　奨学金は、プログラム終了後に申し込み時に申請いただいた金融機関口座に大学から振り込みます。
プログラム費用支払い時は、プログラム費用の全額を一旦ご準備いただく必要がありますのでご注意ください。

（参考）留学費用のイメージ

・協定校向け割安価格の適用
・航空券等の割安調達（早期購入）



・返還不要の給付奨学金を
支給（5～8万円）

**在学中に
本学のプログラムで留学した方がお得です！**

語学研修
単位認定について

単位について（学部生のみ）

・海外留学プログラムは、テロ、政変、天災等の不確定要素により中止となる場合もあります。また単位の認定期は原則実施した"翌期"となります。留学プログラムの単位取得状況により進級要件、卒業要件等に影響が出ることのないよう履修計画を組み立ててください。

・語学研修の単位認定方法について以下に概要を記載しますが、卒業要件への算入可否や認定される科目区分等、単位認定期や認定されるタイミング等の詳細については「学修の手引」などで確認するか、学生課にお問い合わせください。

・また、リピーター（同じ協定校の語学研修に複数回 参加する場合の取扱について等）の取扱については、別紙をご確認いただくか、学生課にお問い合わせください。

・大学院生は、語学研修プログラムの単位認定制度はありません。

・また、学部4年生時に参加の場合も、単位認定が翌期となりますので、実質、単位付与はできません。

語学研修・単位認定について（PDF資料）

https://shibaura3-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/i049102_sic_shibaura-it_ac_jp/EZHibdQZ8GJPi7QFMEaylW8BtATAWvJ0znaSOzbjPjEv6w?e=xLXTBN

プログラム				工学部			建築学部			システム理工学部			デザイン工学部		
				科目名	単位数	単位認定手続き	科目名	単位数	単位認定手続き	科目名	単位数	単位認定手続き	科目名	単位数	単位認定手続き
渡航	英語圏	4週間	カリフォルニア大学 アーバイン校	海外語学演習1～4	2	プログラムを完遂することの他に、外国語能力運用アンケート(留学・海外研修事前調査と留学・海外研修事後調査の両方)に期限までに回答すると単位認定されます。 (N評価) 期限は別途、国際部から案内されるプログラム終了後対応締切と同日です。 事前事後一方でも未回答や締切後の回答の場合は単位認定されません。 ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。	海外語学演習1～4	2	学生は手続き不要。プログラムを完遂すれば、自動的に単位認定されます。 （N評価） ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。	海外英語研修Ⅰ（1回目） 海外英語研修Ⅱ（2回目）	2	「海外英語研修Ⅰ, Ⅱ」は、単位取得のために、帰国後に面接もしくはレポート提出が必要です。 （ABCD評価） 学生は履修登録不要です。 「海外短期理工学英語研修Ⅰ, Ⅱ」は、プログラムを完遂すれば、自動的に単位認定されます。（N評価） 学生は履修登録不要です。 なお、単位認定を希望しない学生は研修前に大宮学生課に申し出てください。（ただしその場合は奨学金の支給対象外となります。）	英語圏の言語と文化	2	プログラム修了後、レポート提出が必要です。帰国後ScombZを確認してください。 （SABCD評価） 学生は履修登録不要です。 「英語圏の言語と文化」…プログラム後にレポート（A4レポート用紙5枚とし、英語で作成）の提出が必要です。内容と英語の両方が評価されます。 「海外工学英語研修」/「英語圏の言語と文化（短期プログラム）」…プログラム後にレポート（A4レポート用紙2枚程度以上、英語で作成）の提出が必要です。内容と英語の両方が評価されます。 また、カリキュラム上、在学中に単位認定されるものは、以下4単位がマックスです。 「英語圏の言語と文化」2単位　（4週間相当） 「英語圏の言語と文化（短期プログラム）」1単位　（2週間相当） 「海外工学英語研修」1単位（2週間相当）
		4週間	カリフォルニア大学 デービス校	海外語学演習1～4	2		海外語学演習1～4	2		海外英語研修Ⅰ（1回目） 海外英語研修Ⅱ（2回目）	2		英語圏の言語と文化	2	
		4週間	ペンシルバニア大学	海外語学演習1～4	2		海外語学演習1～4	2		海外英語研修Ⅰ（1回目） 海外英語研修Ⅱ（2回目）	2		英語圏の言語と文化	2	
		4週間	ダブリンシティ大学	海外語学演習1～4	2		海外語学演習1～4	2		海外英語研修Ⅰ（1回目） 海外英語研修Ⅱ（2回目）	2		英語圏の言語と文化	2	
		2週間	シェフィールド大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1	
		3週間	ハワイ大学 マノア校	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	カリフォルニア大学 アーバイン校	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1	
		2週間	オンタリオ工科大学（2019年度にて開発）	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	ネバダ大学 ラスベガス校	海外語学演習1～4	2		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1	
		2週間	グアム大学	海外語学演習1～4	2		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1	
	アジア圏	4週間	アジア・パシフィック大学	海外語学演習1～4	2		海外語学演習1～4	2		海外英語研修Ⅰ（1回目） 海外英語研修Ⅱ（2回目）	2		英語圏の言語と文化	2	
		2週間	マレーシア工科大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	キングモンクット工科大学 トンブリ校	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	FPT大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	インド工科大学 マドラス校	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
オンライン	英語圏	3週間	ローワン大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	グアム大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		英語圏の言語と文化（短期プログラム）	1	
	アジア圏	2週間	FPT大学	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		2週間	インド工科大学 マドラス校	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	
		7週間（全7回）	FPT 授業期間中実施	単位認定対象外	–		単位認定対象外	–		単位認定対象外	–		単位認定対象外	–	
		2週間	FPT 冬期休暇中実施 ※「2週間FPT（オンライン）」と同内容。	工学英語研修1～4	1		海外語学演習（短期）1～4	1		海外短期理工学英語研修Ⅰ（1回目） 海外短期理工学英語研修Ⅱ（2回目）	1		海外工学英語研修	1	

工学部の語学研修科目単位認定条件が変わります！

- 2023年　夏休みプログラムまで
  - 学生は手続き不要。プログラムを完遂すれば、自動的に単位認定されます。(N 評価)
    ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。
- 2024年　春休みプログラムから
  - プログラムを完遂することの他に、外国語能力運用アンケート(留学・海外研修事前調査と留学・海外研修事後調査の両方)に期限までに回答すると単位認定されます。(N 評価)
    期限*は別途、国際部から案内されるプログラム終了後対応締切と同日です。事前事後一方でも未回答や締切後の回答の場合は単位認定されません。
    ※プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご了承ください。

***期限**　語学研修プログラム終了後に対応すべき、
(1) プログラム体験談 /アンケート(2) 留学後報告書 様式H-1 の回答 の期限と同じです。

単位について（学部生のみ）（続き）
語学研修プログラムの単位認定について 別紙

リピーター（**同じ協定校の語学研修に複数回 参加する場合**の取扱について等）の取扱については、本スライドをご確認いただくか、学生課にお問い合わせください。

語学研修・リピーターの単位認定取扱について(PDF資料)
https://shibaura3-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/i049102_sic_shibaura-it_ac_jp/EZNMI0J_UU1OrbOJ1YUTJI8BB89NeT4Q2dMaGIZJOosMMA?e=Z5q5hr

No.		工学部		建築学部		システム理工学部	デザイン工学部
		2022年度入学生	2021年度以前入学生	2022年度入学生	2021年度以前入学生		
1	同じ協定校のオンラインプログラムに２回目以降参加した場合	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません	同じ協定校のオンラインプログラムに２回目以降参加した場合、単位認定および取得済成績の上書きはいたしません。
2	オンライン型に参加したことがある学生が、同じ協定校が提供する渡航型に参加した場合	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定します。	同じ内容のプログラムに参加した場合、渡航型・オンライン型に係わらず、リピーター参加での単位認定は実施しません。 （ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）
3	渡航型に参加したことがある学生が、同じ協定校が提供するオンライン型に参加した場合	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定します。	
4	同じ実施期に、別日程で同じ協定校のオンライン型と渡航型の両方に参加した場合（例：同年度の夏休み期間中にUOGのオンラインプログラムと渡航型プログラムに参加）	同じ実施期の場合は認定しない。	同じ実施期の場合は認定しない。	同じ実施期の場合は認定しない。	同じ実施期の場合は認定しない。	認定します。	
5	渡航型に参加したことがある学生が、同じ協定校が提供する渡航型に参加した場合	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません。（ただし同じ協定校でも長期と短期のように別のプログラムの場合は認定する）	異なる時期に参加した場合、認定する。（同じ認定科目で累計4回まで）	認定されません。	

渡航型 語学研修
申し込み前の注意事項等

ご両親・保護者等にも相談する

特に費用面やコロナ禍の影響※を事前にご両親等にご相談の上お申し込み下さい。

＊円安、原油高の影響により、例年よりプログラム費用が高騰しています。プログラム費用は12月上旬～中旬（プログラムごとにご案内）にお支払いいただくことになります。
＊本資料の巻末に、奨学金制度や安全に留学をするための仕組み（海外旅行保険・危機管理サービス、事前のセミナーなど）についても記載していますので合わせてご覧下さい。

※現在でも一部の国では、コロナウイルスに感染した場合、5日間程度隔離（ホテルなどで）を求められる場合があります。
※コロナ以前に比べて、航空券のキャンセルチャージ発生時期が早くなっています。

参加決定後について

・参加決定後は、国際部が正当と認める理由以外による参加辞退は認めていません。

※キャンセル時期によっては航空券や授業料のキャンセル料が発生する可能性があります。

STEP 1	11月8日(水)~11月19日(日)まで Web申し込み期間	学内アカウントでログインした状態でGoogle Formより申し込みください。 https://forms.gle/vSShsHF4R2sNHnXH7 ＊定員等の事情により第一希望に参加できない場合もあるため、希望先は優先順位をつけて３つ選んでください。
STEP 2	11月下旬 Zoom面接(対象者のみ)	以下の面接対象者にのみ面接を実施します。学内メールで面談日を案内しますのでご確認ください。面談は1人5分程度にて英会話力の確認等を行います。 **(面接対象者) ホームステイ型のプログラムに申し込んでいる学生のうちTOEICスコアが400に満たない学生。もしくは本学が面談が必要と判断した学生。**
STEP 3	11月下旬 参加プログラム決定通知 および意思確認の回答	**参加プログラム決定通知**を国際部から学内メールに送信しますのでご確認ください。 **指定されたプログラムで参加するかどうか、確認をしますので回答してください。** (第2希望や第3希望での通知となることもありますのでしっかり確認した上で回答ください。) メール返信またはGoogle Formでの回答をお願いすることになります。

プログラム費用の支払いについて

本プログラムは運営に関わる業務の一部を旅行代理店に委託しており、お振込みの詳細、渡航手続き、各種書類の提出等のご案内も各プログラムを担当する旅行代理店（株式会社KICトラベル）よりご案内がございますので、手順に従い手続きを行ってください。また、費用のお振り込みも各旅行代理店までお願い致します。支払期日は各プログラムごとにご案内いたします。

！重要！【キャンセル費用について】

申し込み後にキャンセルする場合は、直ちにメールにて、担当旅行代理店と国際部へご連絡ください。（国際部からの返信も必ずご確認ください）

正式に参加が確定した後（参加意思確認の回答後）は、キャンセル料が発生する可能性があります。ご連絡いただき次第、キャンセル費用が最小で済むように各方面と調整を行いますが、キャンセル料が発生する可能性があることをご承知おきください。

パスポートご準備のお願い

パスポートは、語学研修先大学への申込や渡航手続きに必要なため、お持ちでない方は早急に取得の手続きをしてください。

12月上旬には手続きで必要となりますので、

→パスポートをお持ちでない方は

11月末までに取得しておいてください。

★すでにお持ちの方であっても、有効期間を確認し、必要な場合は更新を済ませてください。
★旅行代理店より連絡のあった期日までに提出頂けない場合、プログラムに参加できなくなる可能性もあります。
★なお外国籍の方の場合でビザが必要な場合は原則としてご自身で取得いただくことになります。ビザが取得できない場合の責任は負いかねますのでご注意ください。
★オリエンテーションまでに準備がなされていない場合、プログラム費用が高くなる可能性があります。

パスポートの有効期間について

プログラム毎に以下の有効期間が必要です。

※下記は日本国籍の場合です。外国籍の場合は条件が異なる事に加えて場合によってはビザの取得も必要ですので、ご自身でご確認をお願い致します。

国	パスポート条件
アメリカ	帰国日まで有効であること。 （滞在日数（帰国日）＋90日有効であることが推奨。）
英国	帰国日まで有効であること。
マレーシア/シンガポール	入国日＋6ヶ月以上有効であること。
タイ	
ベトナム	
カナダ	滞在期間＋1日以上有効であること。
アイルランド	滞在期間＋6ヶ月以上有効であること。
インド	6ヶ月以上有効であること。

諸注意

以下の点をご了承のうえお申し込みください。

- 国際部や本学提携の旅行代理店、保険会社からメールや電話で連絡をさせていただくことがあります。 海外渡航後は、留学先からも連絡があることもあります。メールや着信がありましたら必ず確認をしてください。

  特にメールは「迷惑メール等に入っており、気が付かなかった」ということがないように注意してください。

- ホームステイはダブルステイ（1家庭に学生2名）やルームシェアとなる可能性もあります。シングルステイ（1家庭に学生1人）となる場合もありますがお約束できません。ホストファミリーの選定にあたっては、心身の健康に関わる相談事項（動物アレルギーがあるのでペットのいる家庭は避けたい等）は配慮することができますが、その他のご相談（どうしても子供のいる家庭がよい等）や好みを伺うことはできませんのでご了承ください。ファミリー情報は第2回目オリエンテーションの際にお知らせします。その後変更の希望を伺うことはできません。

- ホームステイの場合は、シャワーや洗濯のルールなどホストファミリーの家庭の決まりを守りましょう。帰宅が遅くなる時や外食する時は事前に連絡を入れる、家のものを使わせてもらうときは許可を取る、何かしてもらったときはお礼を言う等、家庭に受け入れてもらっているという気持ちを忘れずマナーを守って過ごしてください。

- ホテル、大学寮、コンドミニアム等では1部屋を複数名でシェアします。また大学寮などの場合はホテルとは異なり設備は簡素です。日本の一般的なホテルや海外リゾートホテルのような設備を期待することなく、住環境も含めて実施国のことを知る良い機会と考えてご参加下さい。ホテルの場合も、本学のプログラムでは費用の高騰を避けるため、現地における宿泊費が一般的～やや安価なホテルを利用しています。ハイグレードな設備を期待しないでください。

- 参加にあたっては、皆様の心身の安全を第一に考え、大学が把握している各人の医療情報について、学内の学生関連部門、旅行代理店、保険代理店、留学先等の関係各所と情報連携を行うことがありますのでご了承ください。

- 心身の別問わず健康に不安がある方、持病のある方や特別配慮を希望する場合は、申込時に必ず申し出てください。なお、プログラム参加にあたり、心身の安全を確約できないと学長が判断した場合はプログラムへ参加いただけない場合もございますのでご了承ください。

- プログラムによっては、本学からの引率者（教員や職員）はつかず、旅行代理店の添乗員や現地大学のスタッフが引率を行う場合もあります。いずれの場合も団体行動へのご協力をお願います。

- 掲載内容は募集時点で精査し最新のものですが、出発までに現地事情により、変更が生じる可能性がございますのでご了承ください。

安心して留学するためのサポート体制

語学研修参加者は、大学が指定する海外旅行保険および危機管理サービスに自動的に加入して渡航します。個別の手続きは不要です。（保険料はプログラム費用に含まれています。）

1. 海外旅行保険

補償項目	保険金額	補償概要
傷害死亡	2,000万円	渡航中に、事故によるケガが原因で死亡した場合
傷害後遺障害	2,000万円	渡航中に、事故によるケガが原因で身体に後遺障害が生じた場合
治療・救援費用	**無制限**	渡航中に、ケガや病気で治療を受けた場合の治療費や3日以上入院し日本から親族が現地に駆け付ける場合等
疾病死亡	1,000万円	渡航中に、病気が原因で死亡した場合
個人賠償責任	1億円	渡航中に、他人にケガをさせたり、お店の品物を壊して賠償責任を負った場合等
携行品損害	10万円	渡航中に、携行したパソコン等を盗まれたり、落下させ破損した場合等
航空機寄託手荷物遅延	10万円	航空機搭乗時、預けた手荷物が到着後6時間以内に目的地に運搬されなかった場合
航空機遅延	2万円	悪天候や機体の異常などの理由で、搭乗予定の航空機が6時間以上遅延したり、欠航・運休となった場合
疾病応急治療・救援費用 ※31日以下のプログラムのみ	300万円	渡航開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気が原因で、渡航中にその症状の急激な悪化により医師の治療を受けた場合

本学では海外における提携病院数が多いAIGを採用しています。

補償についての詳しい内容は下記ホームページをご確認下さい。
本学HP　https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/attention.html
AIG海外旅行保険　https://www.aig.co.jp/sonpo/company/news/2023/20230418-01

＊また、上記海外旅行保険に加え「旅行変更費用補償特約」に加入いただきます。
「旅行変更費用補償特約」とは、参加学生ご本人の入院等で、旅行を中止した場合のキャンセル費用や、旅行を中断し、帰国した際の帰国費用などを補償する特約です。

詳細は本学提携の保険会社イーコールズ株式会社にお問合せください。

イーコールズ株式会社
ＴＥＬ：03-5614-0506 ／ Ｅ－ＭＡＩＬ：kanyu@e-calls.co.jp
営業時間：10:00-17:00（土日祝日休）

安心して留学するためのサポート体制

2. 危機管理サービス

（1） 24時間365日日本語対応可能な相談デスク

「体調が悪いので病院を紹介してほしい」「パスポートを紛失してしまったがどうすればよいか」「ATMからキャッシュカードが出てこなくなった」等、あらゆる問い合わせに対応します。

（2）安否確認サービス

スマホアプリ（プロファインダー）の利用により、地震やテロが起きた際には迅速に安否確認を行います。

渡航前の事前指導により、危機管理マインドを高めてから渡航します。

1. 危機管理セミナー

第1回オリエンテーションに合わせ、海外旅行保険・危機管理サービス会社から専門家を招きセミナーを行います。実際に起こりうるトラブル事例・対策をケーススタディで学びます。

2. 渡航前ガイダンス

第2回オリエンテーションでは、渡航先毎に現地事情や必要な持ち物等について説明を致します。また、保険代理店の担当者が加入している保険や危機管理サービスについて改めて説明を行うとともに、保険証券や緊急連絡カードを配付、安否確認アプリの登録を行うなど、万全の準備を整えたうえで渡航します。

語学研修

補足説明資料

プログラム費用について

＜参加費用に含まれる主な項目＞

【授業料】 派遣先大学等へ支払う授業料
【航空券代】 空港税・空港施設使用料・燃油サーチャージ（2023年9月時点の金額）も含んでいます。
【宿泊費用】 現地到着後の宿泊費用
【現地空港送迎費】 現地空港～宿泊施設間交通費（到着日および帰国日）
※ペンシルバニアのプログラムについては空港送迎費は含みません。
【プログラムのカリキュラムに含んで実施するアクティビティやサイトビジットの費用（交通費・入場料等）】
【海外旅行保険・危機管理サービス費用】
【予め費用に含まれる食事代】各プログラム別の募集資料参照

＜参加費用に含まれない主なもの＞

【パスポート・査証等取得費用】 パスポートの取得費用や、電子渡航申請（アメリカ本土、ハワイ）の申請費用（旅行会社で代理申請も可能）
【日本国内旅費】 自宅～出発空港の交通費や宿泊費（やむを得ず前泊する場合等）
【滞在先における日々の交通費】 ホームステイの場合などで公共交通機関を利用して通学する場合は日々の交通費がかかります。
【週末のオプショナルツアーなどのアクティビティに関わる費用】 通常数百円～数千円ですが、米国のプログラムで週末に1泊2日で遠方に出かけるツアーなどは2～3万円程度かかる場合もあります。
【予め費用に含まれる食事以外の食事代】各プログラム別の募集資料参照
【個人的支出】 通信費用・日用品代・小遣い等
【テキスト代】 別途購入が必要となる場合

よくある質問

プログラム申込～参加決定まで

Q.初めて海外に行きます。参加できますか？
A.はい。**むしろ今回が初めての海外渡航という方が例年半数以上です**。過去に経験がなくても誰でも参加できるプログラムを用意していますので、安心して参加ください。特に初心者向けプログラムは、グアム、ラスベガス、ハワイ、アジアのプログラムです。入門者向けカリキュラムで授業が行われます。

Q.第１希望のプログラムのみ参加希望です。申込時に第２希望、第３希望も必ず記入しなければなりませんか？
A.はい、記入をお願いします。第１希望のプログラムが定員を超えてしまった場合やホームステイを志望されていて面談の結果等によっては第２・第３希望のプログラムでのご案内となるためです。第１希望のみの記載ですとそういったご案内ができなくなってしまいます。第2・第3希望で合格通知があった場合に参加しない場合は、その時に参加しない旨申し出てください。

Q.友人には面談の日時の連絡があったのですが自分にはありません。面談は不要ですか？
A.はい。面談は全員に対して実施するものではありません。対象者は、ホームステイ形式のプログラムに申し込んでいる方のうち、TOEICスコアが400未満の方、応募フォーム内容により、面談が必要と判断した学生のみです。対象者には個別に国際部よりメールにて連絡します。連絡がない方は、面談不要です。

Q.いつ自分の参加プログラムが決定しますか？
A. 11月中旬頃、参加プログラムが決定しましたら、学内メールアドレス宛に「参加プログラム決定通知」を送付します。そのメールに「参加意思有」の回答をすることで参加が確定します。

Q.申込後にやむをえない事情により参加できなくなってしまいました。キャンセルすることは可能ですか？
A.速やかにメールでキャンセル理由を記載の上、国際部へ連絡ください。**振込まではキャンセル費用はかかりませんが、その後は時期によってはキャンセル料が発生します。**
コロナ禍の影響でキャンセル料の発生時期が早くなってきておりますので、予めご了承ください。

Q.費用はいつ払えばいいのですか？また、いくら払えばよいのですか？
A.各プログラムごとに費用の支払日をご案内します。また、この時に支払っていただく金額は、各プログラム資料にて「プログラム費用」と記載された金額です。資料には「自己負担額」という金額も記載されていますが、これは「プログラム費用」から帰国後に受け取る「奨学金」（最大受給額）を引いた金額であり、上記支払日には「プログラム費用」の金額を用立てていただく必要がありますのでご注意ください。

参加決定～出発まで

Q.海外旅行保険加入手続きは必要ですか？
A.いいえ。語学研修の参加者は、大学が指定する保険に全員自動的に加入します。国際部で手続きをするため個別に手続き不要です。**保険証書は第２回事前オリエンテーション時にお渡しします。**

Q.事前オリエンテーションは２回とも出席が必要ですか？
A.やむを得ない場合を除いて極力参加してください。第１回目は、参加者同士の顔合わせ、渡航手続き書類の提出、過去参加者から準備のアドバイスなどを聞きます。第２回目は、荷造りポイント、現地事情、出発当日の集合場所、ホストファミリーの案内等大切なご案内をします。やむを得ず欠席した方には、後日必要物を連絡しますので必ず熟読してください。

Q.危機管理セミナーは保護者も参加できますか？
A.はい。参加いただけます。

よくある質問（追加分①）

参加学年について

Q. どの学年での参加者が多いですか？
A. 1・2年生での参加者が多いです。
ただ、コロナ禍だったこともあり、最近では3・4年生、修士生の参加者の方も増えています。卒業前に海外経験をしておきたいから参加するといった方もいらっしゃいます。

Q. ４年生でも参加できますか？
A.はい、もちろん参加して頂けます。
ただ、単位認定は参加した学期の翌期の単位付与となりますので、単位認定はできないことをご了承ください。

渡航手配・渡航準備について

Q.ホームステイは１家庭につき１人ですか？
A. 1家庭につき1人という確約はできません。
ホームステイ先によっては、芝浦の学生を受け入れる前に他の留学生を受け入れているようなケースもあります。また、プログラムによっては1家庭2名受入が原則のプログラムもあります。参加者が決定してから、現地のコーディネーターに手配してもらう形となります。1家庭1人となることが多いですが、確約はできません。

Q.ホームステイ先が合わなかった場合、変更はできますか？
A.はい、変更を希望することは可能です。
例は多くないですが、ホームステイ先がどうしても合わなかった場合は変更を希望し、新しくホームステイ先を手配してもらうことができます。

Q. バディ制度（1対1の場合）、男女の配慮をしてもらうことは可能ですか？
A.確約はできませんが、事前に協定校へ参加者情報を提供し、性別について配慮してもらうといったことは行っております。

Q. 語学研修期間終了後、滞在期間を延長することは可能ですか？行き帰りの航空券の日程変更は可能ですか？
A.できません。語学研修では、団体航空券で手配しておりますので、日程を1人だけ変更したり片道だけ自身でお手配頂くことは基本的にはできません。

Q. 現地ではカードを使いますか？現金をもって行った方がいいですか？
A.クレジットカードやデビットカードを現地に持っていく方が多いです。本人名義のクレジットカードや家族カードでのクレジットカードをご用意頂くと安心です。
渡航先により、どのようなタイプのクレジットカードが利用可能か、現金はどのくらい必要かといったことは、参加決定後、担当旅行代理店へご相談ください。

Q. コロナウイルスワクチン接種は必要ですか？
A.　現在（23年10月時点）では、語学研修参においてのワクチン接種の要件はありません。今後、感染症拡大などにより、要件が変更になった場合にはお知らせいたします。

語学力について

Q. 語学力の部分でどのレベル感でチャレンジするか悩んでいます。
A.各プログラムの**英語力目安（TOEIC換算）**を参考にしてみてください。レンジの低いスコアのプログラムほど初級者向け、レンジが高いスコアのプログラムはレベル分けのクラス編成などで、上級者にも対応しているプログラムとなっています。また、迷った場合には国際部へ相談して頂くことも可能です。

Q.参加者の語学力はどのくらい上がりますか？
A. 申し訳ありませんが、一概に英語力がどのくらい上がるかについては個人差もありお伝えできません。参加直前・直後で英語力について測定している訳ではないので、ハッキリとした数値は伝えられませんが、経験や語学力向上についての感じ方の部分は、これまでの参加者の体験談の中で確認して頂けます。

奨学金について

Q. 語学研修に２回目の参加ですが、奨学金は支給されますか？
A. 奨学金の給付については、該当プログラム（語学研修・gPBL・海外インターン・交換留学）で年度内に1回が原則ですが、要件を満たしている場合には、2回まで支給が認められます。要件は、参加申し込み時点でTOEIC550点以上、もしくは各種英語能力試験でCEFR B1相当以上のスコアを有していることが条件となります。
詳細についてはこちらのHPよりご確認ください。
https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/scholarship.html

よくある質問（追加分②）

その他

Q. 休学中でも参加は可能ですか？
A. 休学中でも参加頂くことは可能です。ただし、春休み参加の場合、後期に休学している場合は奨学金・単位については支給できないことをご了承ください。

Q. １人で参加になってしまうことはありますか？
A. 各プログラムにはプログラムを催行する為の最少催行人数があり、その人数に満たない場合プログラムを実施することができない為、１人でプログラムに参加頂くということは基本的にはありません。
ただし、一部のプログラム（ペンシルバニアやカリフォルニア大学デービス校でのプログラム）では、個人手配に切り替えて参加頂くことも可能な為、少人数の場合でも手配できることがあります。

Q. アジアのプログラムはバディ制度があることが多いですが、APU（アジアパシフィック大学）のプログラムにもバディ制度はありますか？
A. APUのプログラムは、オープンプログラム（世界各国からの留学生を受け入れているプログラム）の為、芝浦の学生を対象としたバディの制度はありません。
しかし、英語のクラスやアクティビティの中で世界からの留学生や日本の他大学の学生との交流の機会が多くあることが特徴ですのでご安心ください。

Q. 申込期間中の内容の変更や取り消しは可能ですか？
A. 10/31までは、ご自身で提出して頂いた申込フォームの内容を変更頂いたり取り消すことが可能です。心配な場合は、国際部へご連絡頂ければこちらで変更や取り消しを行うことも可能です。

Q. 現地でかかる費用（食費やオプショナルツアー費用）の目安は教えていただけますか？
A.参考までに、23年夏の語学研修参加者のアンケート結果を元に現地で使用した費用の目安についてまとめた表を次のページに別紙として掲載しております。（参考資料１・２）
ご参照ください。

GLCや国際部で相談してみる

先輩学生や職員に相談することができます。
お気軽に相談にきてください！

■大宮キャンパス　大学会館2階
大宮GLC

■豊洲キャンパス　教室棟4階
豊洲GLC
■豊洲キャンパス　本部棟4階
国際部国際プログラム推進課

■お電話やメールでのお問合せは・・・
outbound-esl@ow.shibaura-it.ac.jp
03-5859-7140
国際部国際プログラム推進課
派遣プログラム語学研修担当までお問い合わせ下さい。

Penn
University of Pennsylvania

UCIrvine

DCU
Ollscoil Chathair Bhaile Átha Cliath
Dublin City University

University of Hawai'i Mānoa

University of Sheffield

UTM
Universiti Teknologi Malaysia

University of Guam
Unibetsedåt Guahan

A·P·U
Asia Pacific University
of Technology & Innovation

UNLV

FPT Fpt University

OntarioTech University

KMUTT King Mongkut's University of Technology Thonburi

IIT MADRAS
Indian Institute of Technology Madras

世界への第一歩！　皆様の参加をお待ちしています。